

障害者スポーツおよびリオパラリンピック写真展 巡回展示 開催のご案内

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、横浜市民の皆さんに障害者スポーツの魅力をよりよく知っていただき、広く応援・支援していただくことを目的として、横浜市内の区役所等公共施設・広域集客施設・学校等の皆さまに対し、障害者スポーツおよびリオ2016パラリンピック写真展の巡回展示を行います。ぜひご活用ください。

なお、当事業は、横浜マラソンのチャリティーによる寄付金をもとに、横浜市民に対する障害者スポーツの普及・啓発事業の一環として実施しています。

写真展巡回展示の内容

当事業団が、会場レイアウト、施工、会場運営、搬出入など企画・運営のすべてを担い、かかる経費も負担します。皆さまには、会場提供と関係先広報をお願いし、その他の負担はありません。

①障害者スポーツ紹介写真

横浜市内で観戦することができる障害者スポーツの競技写真および競技説明

- ・ ボッチャ（リオで日本代表が銅メダル）
- ・ パラ陸上競技
- ・ 卓球
- ・ 車椅子バスケットボール
- ・ 水泳
- ・ ウィルチェアーラグビー（リオで日本代表が銅メダル）
- ・ アーチェリー（障害者スポーツの起源）

②写真家・清水一ニ（しみず・かずじ）氏によるリオ2016パラリンピック報道写真

国際パラリンピック委員会メディアスタッフであり、障害者スポーツを追い続けている横浜市民住のカメラマン 清水一ニ氏によるリオ2016パラリンピックの記録

③障害者スポーツ支援・応援の拠点「横浜ラポール」の紹介パネル

④その他

ご希望により「競技用車いす」の貸し出しや、競技デモ、体験なども行います。

- ・ 陸上競技用車いす「レーサー」
- ・ 車椅子バスケットボール



展示イメージ

会場の状況に合わせて、展示方法、レイアウト等を調整し、観やすい会場構成とします。



写真イメージ

布製で、とても軽量。S管、ピンフック等で2か所を留めるだけ。短時間で設営することが可能です。

①障害者スポーツ紹介写真

※競技ごとに、大型バナー1枚＋競技写真2枚＋競技説明1枚



※上記の他、ボッチャ、陸上競技、卓球、アーチェリー、ウィルチェアーラグビーの紹介写真を用意しております。

②写真家・清水一ニ(しみず・かずじ)氏によるリオ2016パラリンピック報道写真



※上記の他、大型バナー1枚＋競技記録10枚を用意しております。

お申込み・お問合せは

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 担当：佐竹・八重樫

TEL. 045-475-2050 Fax. 045-475-2053

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752



障害者スポーツ★応援フェス

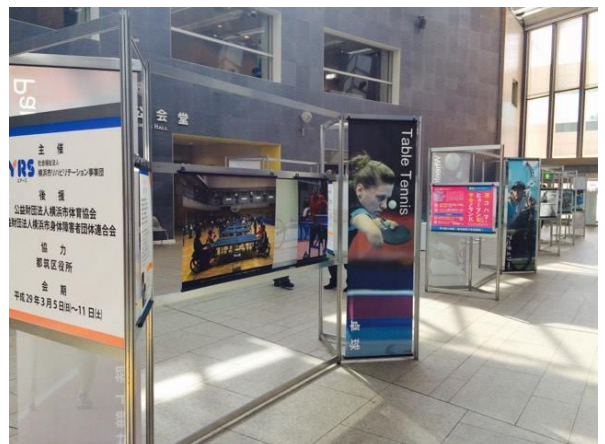
=ヨコハマから応援と支援の輪を広げよう=

都筑区で先行開催！

都筑区役所の協力で、都筑区総合庁舎にて「障害者スポーツ★応援フェス」を先行開催しました。

期間:2017年3月5日(日)～3月11日(土)

場所:都筑区総合庁舎1階区民ホール



7日間で、来場者1万1千人を突破。

協力していただいた都筑区のご担当者からも好評価をいただきました。